

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第三機関銃中隊

22501

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三日

紙數附錄共
貳拾六枚

獨立混成第十五聯隊第三機関銃中隊

十月一日 一八〇〇中隊長以下四名飛行場建設作業從事ス
 日 晴 一二〇〇旅團長閣下訓示ヲ受ク
 於伊江島 一 兵器被服ノ手入
 一二〇〇左記西作命第七七號ヲ受領ス(坂幸)

- 六大隊機関銃中隊(分隊八)記念碑高地及大井ヶ高地女山附近ニ堅固ニ陣地ヲ占領シ主トシテ第八中隊狀況ニ依リ第七中隊正面ニ戦斗協力スヘシ
- 一ノ分隊ヲ以テ伊江城南側山腹堅固ニ陣地ヲ占領シ西江部落内道路ヲ縱射スルト共第九中隊左支點前ヲ射撃シ得ル如ク準備スシテ分隊ヲ燈臺附近泳道第九中隊狹小隊ニ分隊スノ指揮下ニ入ラシムヘシ
- 一七一般中隊及機関銃中隊各小隊宛テ對空射撃部隊ニテ常時之カ準備ヲナシアルヘシ
- 一八各隊ハ戰車ニ對スル内濤攻撃ヲ一般歩兵中隊及工兵小隊ハ艇身

奇襲ノ動作ヲ併セ訓練スヘシ

一、二般ニ障地構築ハ徹底シテ實施シ特ニ棲息掩蔽部ハ少クモ四
尺以上ノ土層ヲアラシムル如ク實施スル共ニ之ノ閉鎖スル監視壕ニ
併セ構築スヘシ

地區隊長 西村 大尉

下連法各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘ後印判交付

一本日ノ勤務者

週番士官 澁谷 中尉
同 下士官 鈴木 軍曹
同 上等兵 高橋 上等兵
區務室勤務 庄司 兵長

一本日ノ総員五三名

十月二日

兵器被服ノ手入

大隊長統裁將校現地研究

舎内外ノ淨化

一、二、三、左記西日命第五七號受領ス(夜卒)

一、各隊十月四日午前中兵器ノ検査ヲ實施シ其結果ヲ同
日十四時ニ大隊長ニ報告スヘシ

一、十月五日十時ヨリ聯隊ノ兵器検査ヲ實施スル各隊之準備
ニ遺憾ナキヲ期スヘシ(配属部隊除ク)

一、排列場所、時刻等ニ関シテハ兵器科ヨリ指示セシム

一、十月二日ヨリ日課時限ヲ左ノ通り變更ス

起床 未日朝兵呼 ヲ六〇〇

日夕兵呼 ニ〇ニ〇

消燈 ニ一〇〇

一、四衛兵交代ハ明三日ヨリ當分ノ間八時ト

一本日ノ勤務者前日ニ同シ

同晴
於伊江島

①

一 本日、総員五三名

十月三日
火 晴
於伊江島

一 兵器被服ノ手入

一 中隊長陣地細部ニ関シ偵察

一 兵器検査ノ準備

一 二九〇中隊長隊長會同出席

一 大隊長訓示ニ關スル會報アリ

一 本日、勤務者前日ニ同シ

一 本日、総員五三名

②

十月四日
水 晴
於伊江島

一 二〇〇 兵器検査實施

一 中隊長大隊長ニ隨行陣地偵察

一 二〇〇 検査講評

一 二五〇 大隊長、訓示ヲ受ケ

一 二六〇 中隊長陣地細部偵察

一 二七〇 衛生講話實施ニ關スル會報アリ

一 本日、勤務者前日ニ同シ

一 本日、総員五三名

十月五日

木 曇

於伊江島

一 兵器検査準備

一 二〇〇 検査受檢ス

一 二二〇 衛生講話聴講ス

一 本日、勤務者前日ニ同シ

一 本日、総員五三名

十月六日

金 曇

於伊江島

一 二二〇 中隊長新陣地經示ス

一 二三〇 作業ニシテ陣地偵察ヲ待避家

一 村民二六名、奉仕作業アリ

閱

一、三〇〇中隊長西日命第六二号ヨリ廻番司令ヲ命セラル
一、軍旭取扱經驗者有重調査ニ関スル會報アリ
一本曰、勤務者前日ニ同シ
一本曰、総員五三名

十月七日
土 凡
於伊江島

一、三〇〇作業ニ三隊陣地指揮班待避蒙
一、村民二六名奉仕作業アリ
一、三〇〇中隊長及將校大隊長下集合左記、如ク指示ヲ受ク
左記

- 一、清報蒐集ニ関スル件
- 二、對空監視増強ニ関スル件
- 三、疎開時機、看破及其予行等ニ関スル件
- 四、對空射撃部隊ニ関スル件
- 五、各種軍需品、分散掩蔽処置ニ関スル件
- 六、待避ニ関スル件

一本曰、勤務者

廻番司令 中隊長
 一 士官 工藤中尉
 同 下士官 三浦軍曹
 同 上等兵 菅原上等兵

一本曰、総員五三名

閱

十月八日
日 晴
於伊江島

一、三〇〇作業
 一、三〇〇西作命第七号ニ基キ伊藤分隊燈台附近ニ永遠ニ
 編成附表第一、如シ
 一、村民二五名奉仕作業アリ
 一、三〇〇西作命第九号要旨ヲ受領ス
 一、三〇〇西作命第九号要旨ニ基キ大宮分隊配備ニ就ク

編成附表第二如シ

西作命第三九号左、如シ(原案)

- 一、マリア方面ニ策動中ノ敵機動部隊ニ空襲スル公算大ナリ
- 二、地区隊ハ沿岸部隊及対空射撃部隊ヲ配備シ海上並対空ニ對スル警戒ヲ養ヒ主力ヲ陣地附近ニ疎開シ最モ我カ配備及兵力ヲ秘密ニ戦備ヲ整ツ、作業訓練ニ邁進シ之戰備轉移ヲ準備セントス
- 三、各隊ハ伊西作命第三七号ニ基キ左記人員現在地或置ニ分散ヲ實施スベシ

左記

- 一、各隊指揮班
- 二、一般中隊約三分一
- 三、射撃中隊約二分一

各中隊約三分一

細部ニ關シテハ各隊長指示スベシ

四、對空射撃部隊トシテ左、如ク服務セムベシ

一般中隊一ヶ小隊

射撃中隊一ヶ小隊

射撃開始時機ハ中隊長命令スベシ

五、前記派遣部隊ハ半洞巖家屋完成テ天幕野營ト高層

築糧秣集積ヲ為陣地附近ノ民家ヲ使用スベシトテ得

六、各隊ハ各個人裝備ヲ完備シテ手榴彈ニ發射機一ツヲ發

射シテ付四ハ發射機一統ニ付四口連ヲ使用シ得ル如ク準備

シテハ爾余ハ各中隊長ニ於テ決定スベシ

八、各隊ハ本八日十五時子本部ニ傳令シ、差出ニ連絡ニ任シム

シ完全軍裝トス

九、各隊ハ燈火管制ニ遺憾アカラシムベシ

各隊長に附近民家への指導等並習任ス
十防疫給水班に各隊長に連絡予て指示ルル処に給水
任ス

土給養其他に從來通トス

地區隊長代理 諸江大尉

下達並要旨ヲ傳後命令受領者、集白連並要旨

注意事項

一偽裝ヲ徹底的ニ行フコト

二傳令ハ本部ヲ於テ起居スルコト(學校以外係)

三分散狀況ヲ十七時ヲ報告ス

×ラン色旗ハ警戒警報示旗ハ空襲警報トシ屋

上監視哨ニ揚

一本日、勤務者前日同シ
一本日、総員四四名

十月九日

晴

於伊江島

一、本日、勤務者前日同シ
一、本日、総員四四名



十月十日

晴

於伊江島

一、二〇〇〇空襲警報發令セラレ

一、二〇二五二分既設陣地配備對空戰準備指揮進行

完了ス編成附表第三如シ

一、對空戰準備實施

一、一〇〇〇阿部曹長傳令ニテ隨行戰車指揮所へ

一、二〇三三西命令第三〇号受領ス

一、本朝二〇三三戰爆連合三八機伊江島に襲来ス

一、部隊ハ甲子戰備ヲ實施ス

二 部隊ハ戦斗配備ニ就キ隨時戦斗ヲ開始シ得ル如ク
準備ヲ整フメト共ニ極力完全ニ秘匿スル処置ヲ講ジ
ル後工事ヲ進捗ヲ圖ルシ

四 各隊ノ前項ニ基キ対空及地上搜索ノ処置ヲ講スルシ

五 爾後対空射撃ニ対シテハ必整ニ確信ヲ得ル場合ニ限リ

射撃シ極力彈藥ノ節約ニ努ムヘシ

六 各隊ノ第一次空襲ニ於テハ諸情報ヲ速ニ提出スルシ

七 本朝食ハ携帶口糧ニ依ルシ

八 爾後ハ命令受領者ヲ戦斗備令所ニ常時差出スルシ

九 余ハ戦斗司令部ニ在リ

地區隊長代理 諸江大尉

下達法令受領者ヲ兼テ口達筆記セルム

二二 諸角飛衛士上等兵西作命第三一號ニ基キ飛行場大隊
員傷者收容後方ヲノ出向フ

二二 五五 記指示ヲ受リ

一 各隊ハ第二次戦斗準備ノ完整ヲ圖ルコト

ノカソリシヲ準備(各隊ニ結完配付)

ロ 彈藥分配ヲ完了

ハ 四攻用彈藥ヲ準備

ニ 武裝ヲ完備

ホ 連絡手段ヲ確保

ヘ 夜間射撃ヲ設備

ト 警戒兵ヲ配置

チ 障礙物ヲ設置其他

ニ 今夜中ニ各人一箇完ノ塙壺ヲ完成スルシ

三 情報ヲ速報(主隊ヲ警戒兵四隊部隊相互通報ヲ得ルシ)

四 夜間ノ難シ敵機ノ空襲ヲ顧慮スルニ付將兵ノ行動

空ニ充分注意シタル後別隊ヲテ本部ニ援出スルシ

ハ所屬指揮官ノ適確ナル命令ヨリ為サレムコト
尚艦砲射撃對シテ不覺ヲ取ルガ如キ事ナキ様充分注
意スルコト

五 民間協力部隊ハ今夜中ニ其レノ予メ指示セラレテ所
ニ基キ配属スルコト

六 地方人ハ各々各自家屋附近ニ防空壕ヲ設テ待避セシムル
如ク指導ノコトニ一部動搖ヲ結果海岸附近ニ避難セシムル
者ヲ將テ未戰斗ヲ考慮シ適當ナラス

トトモニ機體ヲ行演習又ハ幹部教育ヲ實施スルコト
一 ニニニニ火砲瓶用ノ空瓶ヲ交付セル

一 カソリン運搬ノ為ニ兼兵長本部ニ差出ス
一 ニニニニガソリン一鉢受領ス

一 ニニニニ彈藥ヲ受領シ各分隊ニ配出ス
一 本日ノ我軍不意襲撃

十月

十月十日 一 終夜陣地ニ在リ作業

水 晴 一 ニニニニ齋藤一等兵戦死者慰靈祭施行ノ為メ本部ニ差出ス
一 ニニニニ左記西作命第三ニ号受領ス

一 地区隊ハ旅團命令ニ基キ防衛担任地域内ノ損害ヲ左ノ要領
ニヨリ調査ス

一 地方側人員ノ被害
一 民家其他ノ被害状況
一 一般人心ノ動向

一 各隊將校以下官一兵ニヨリ前記要領ヲ列シ示セル

城ニ付調査シ十八時ヲ報告スヘシ

地区隊長代理 諸江 大尉

下達法要旨ヲ傳後命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

二〇〇〇二藤中尉以下四名西作命第三三三号ニ基キ被害調査ヲ

實施ス

一本日、勤務者前日ニ同シ

一本日、総員四四名

(関井)

十月十五日、依然陣地ニ在リ作業

木 蛋 二〇〇〇左記西作命第三三三号受領

於伊江島

一、軍ヲ通報シヨリ、灣カラシビ一ニ度五〇〇并ニ敵機動部

隊接近十、日三三〇第三三三号艦隊夜間戰鬥隊、夜間戰鬥

機隊ト交戦中ニシテ十日來襲セル敵機動部、隊ニ且南下

セルヲ再北ニ本朝本島ニ來襲スル事ヲ確カセナリ

二、部隊ノ直ニ配備ニ就キ對空戰鬥準備ヲ完成スヘシ

三、各隊ノ人員兵器糧秣燃料等ヲ壕内ニ遮蔽秘匿セ

シ、陣地及射撃部隊ノ偽裝ヲ徹底的ナリシメ一人一銃

一物ノ損耗ヲ絕對ニ防止スルト共ニ敵來襲ニテハ必撃ヲ

確信ニ得ル距離以內ニ於テ射撃ヲ實施シ敵ヲ喪失スヘシ

四、昼間ノ行動ヲ一般ニ禁示ス

之ガ屬概テ諸準備ヲテモ達完了スルモノトス

地区隊長代理 諸江 大尉

下達法命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

二〇〇〇左記西作命第三三三号受領ス

一、獨混第四旅作命第五四号ニ基キ地区隊長飛行場掃

修ニ協力ス依テ各隊ハ左記ノ通り一時ヲ分戰斗司令所

前ニ集合スヘシ

左記

第七八九中隊各四〇名附二〇名附三〇名

附三五名附二〇名

一、各隊ハ先任將校ノ指揮下ニ殘存人員ヲ以テ警戒並ニ作業ヲ實施スヘシ

二、附八ニ銃附四銃ヲ作業場ニ携行シ對空射撃ニ任スル

地區隊長代理 諸江大尉

下達命令受領者ヲ果シテ連筆記セシム

一、二、三、中隊長以下、軍需部員等二〇名飛行場大隊ニ協力ス

一、四、〇、空襲警報解除

一、本日、勤務者前日ニ同シ

一、本日、総員四〇名

十月十二日、依然陣地ニ在リ作業

金 曇

於伊江島

一、中隊長大隊長ニ隨行陣地構築ヲ指導ス

一、二、三、〇、空襲警報發令一ヒニ同解除

一、本日、勤務者前日ニ同シ

一、本日、総員四〇名

十月十四日

曇

一、依然陣地ニ在リ作業

一、二、三、〇、正記西作命第三五号受領ス

一、臺灣、石垣島ニ於テ十月十二日以降敵機動部隊來

動中ナリ

海軍航空部隊戰爆連合約百餘機本十四日八時頃伊

江島ニ到着シ燃彈ヲ補給シ受テ臺灣方面出動ス事ナリ

二、地區隊一部兵力ヲ飛行場ニ派遣シ飛行場大隊ニ協力

燃彈ヲ補給シ任ス飛行隊活動ヲ容易ナラシム

三、本部又各隊ハ將校ノ指揮スル約三分一兵力ヲ即刻

飛行場ニ派遣ニ燃輝、補給ニ協力スル

四大隊中隊及中隊ヨリ各部隊ヲ對空射撃部隊トシ
飛行場ニ派遣對空射撃ニ任スル

五、余ハ中飛行場ニ在リ

地區隊長 西村 大尉

下達法電話ヲ請フテ呼出各隊ニ命令傳達ス

ニ、後印刷交付

一〇七〇工藤小隊西作命第三工号ニ基キ飛行場ニ派遣ス

一一五〇五記西作命第三工号受領ス

一、狀況ハ緊迫ニ致シ上陸企圖濃厚ナルモ、セシ伊江島於ケ
ル守備兵力増強、為聯隊長、指揮スル約ナリ

大隊本夕刻伊江島ニ到着スル筈ニナリ

ニ、地區隊ハ一部ヲ以テ聯隊、主力ノ上陸後、護衛準備
備ヲ實施セトス

一、中隊ハ該兵力ヲ十六時五分迄留止場附近ニ派
遣シ、中尉ヲ指揮下ニシムル

四、本部第七八中隊各下士官ニ兵三隊ノ小隊ヲ以テ

下士官一兵ニ、即時大隊副官、下士官出シ大副官ハ該

兵員ヲ指揮シ聯隊主力宿營準備ヲ實施スル

地區隊長 西村 大尉

下達法命令受領者、果シテ口達筆記セシム

一、三〇〇中隊長西作命第三工号ニ基キ諸隊ヲ指揮シ聯隊

主力ノ上陸ヲ援護ス

一本日ノ勤務者前日ニ同シ

一本日ノ総員四名



十月十五日
日 晴
於伊江島

一依然陣地ニ任リテ作業

村民一名奉仕作業

一〇三三西作命第三七号受領ス(坂草)

一伊江島村落内ニ為營スル各隊ハ陣地附近ニ於テ露營スル

ニ對空射撃部隊ハ夜間一般中隊ヨリ(第七八九號)一ヶ小

隊第三機関銃獨立機関銃中隊ヨリ各々一ヶ小隊

各一一般中隊機関銃各二各二ヶ小隊陣地附近ニ隨

時配置シ得ル如ク準備シアルヘシ

ニ露營日直將校巡査將校在リテ命令

月 日 日直將校 巡査將校

一〇三三 中隊長

一〇三三 中隊長

一〇三三

六戰備ノ度ハ内トス

七、余ハ本部山ニ在リ

露營司令官 西村大尉

下達要旨ヲ傳ヘ後印刷記平

一〇三三左記聯隊會報アリ

一〇三三左記聯隊會報アリ

ニ傳令常時差出ニ聞スル件

一〇三三左記獨混十五作命第五八号受領ス(坂草)

一十月十日以來一部ヲ以テ南西諸島主力ヲ以テ臺灣ニ來襲スル

有カニ敵機機動部隊ハ皇軍ノ猛攻ヲ演習的打撃蒙

リ東方ニ遁走中ニテ我々軍ハ之對シテ戰果擴大中ナリ

軍ハ今十五日十九時五分兩号戰備ヲ解ク

ニ地區隊一部ヲ以テ飛行場大隊ノ飛行場整備作業

ニ協力スト共ニ主力ハ依然陣地構築ヲ促進セントス

三、各隊一部ヲ以テ對空監視ニ任ズルヲ對空射擊部隊
 ハ之ヲ撤シ隨時對空射擊ニ移行シ得ル態勢ヲ以テ
 陣地構築ヲ促進スルヘシ
 六、爾余、諸隊ハ前任務ヲ續行シ戰備ノ完整ヲ促進
 スヘシ
 七、余ハ伊江村役場ニ在リ
 伊江島地區隊長 美田大佐
 下達法命令受領者ヲ集メテ達筆記トシ後副官等
 一、一二三、警戒警報解除
 命令受領者復報ス
 一本、日勤務者
 日一區 下士官 三浦 軍曹
 同 上等兵 大島 上等兵
 一本、日勤員四名

十月十六日 二〇七四 演業

於伊江島 月 晴 村民三名奉仕作業

一、警戒警報發令
 一二三、左記獨混十五隊命令第五九号受領ス(復報)
 一、今般畏之侍從武官坪島文雄中將ヲ第三二軍
 ノ狀況實視ノ爲十月十三、七日御差遣アラセラル
 軍ハ右ニ伴ヒ警戒ヲ強仁スル爲丙号戰備ヲ下令ス
 二、聯隊ハ丙号戰備ニ移行シ對空對潛警戒ヲ至急
 ナラシメントス
 四、爾余、諸隊ハ現任務ヲ續行スヘシ
 五、余ハ伊江村役場ニ在リ
 伊江島地區隊長 美田大佐
 下達法 印刷交付

一四上座裝警報發令セラル

一五〇同解除

一六〇伊藤(憲)上等兵及安住兵長と傳令トシテ服ヒシム

一本日、勤務者

日直下ニ官 三浦軍曹

同 上等兵 遠藤憲上等兵

一本日、総員四名

十月十七日 左記西作命第三八号受領ス

一現在道走中、敵機動部隊、外新敵機動

部隊、亦朝東方ニ淫乃至三ノ淫附近ニ在ルモノ、如シ

ニ大隊ハ本早朝敵、空襲ヲ顧慮シ特ニ防空警言成ヲ

嚴テラシメントス

ニ各中隊ハ予ニ示ルル對空射撃部隊ヲ速ニ配置スルヲ

ニムルト共ニ直ニ待避ニ得ル如ク準備シタルヘシ

四余ハ本部山麓ニ在リ

大隊長 西村大尉

下達法令受領者ヲ果シ口達筆記セシム

一六〇〇作業 村民八名奉任作業

一本日、勤務者

日直下ニ官 佐藤軍曹

同 上等兵 伊藤憲上等兵

一六〇〇安住兵長及伊藤憲上等兵と傳令トシテ服ヒシム

一本日、総員四名

一六〇〇作業

十月十八日 晴 一六〇〇警戒警報解除

開行

開行

於伊江島

一 中隊長西村命第九号要旨ヲ受テ第一隊陣地ヲ移動ス
 二 燈臺附近ニ派遣シテ伊藤分隊復敵セシム
 一 西村命第九号左ノ如シ(抜萃)
 一 大隊ハ燈臺南側ニハ高地南端ニシテ伊江城山南麓ヲ經
 テ墓地高地ヲ含メ線以南ノ地区ニ陣地ヲ占領セントス
 二 燈臺附近ニ派遣シテ伊藤分隊復敵セシム
 三 大隊中隊ハ主力ヲ以テ第九中隊正面一部ヲ以テ第八中隊
 第二中隊正面ヲ射撃ニ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ
 大隊長 西村 大尉
 下連法中隊長要旨ヲ傳(後命令變更者)果シテ違背者
 一 伊藤 廣 二等兵 及 安兵 兵長 各 傳令 トテ 服 セシム
 一本日勤勞者

一本日給員五三名

月直下士官 鈴木 軍曹
同 上等兵 大 二等兵

十月十九日一語作業
於伊江島

木 晴 一〇九二〇五記西村命第四号受領(抜萃)
 一 大隊、陣地ハ最も堅固ニ大規模ニ實施スヘシ
 一 特ニ左記ニ付テ留意スヘシ
 一 各隊毎ニ速ニ彈藥集積所ヲ準備スヘシ
 一 棲息掩蔽部ヲ速ニ完成スヘシ
 一 多数毀構、肉攻壕挺身奇襲壕ヲ準備スヘシ
 一 本部及各隊ハ今日明日中ニ陣地資材ヲ努力多ク
 陣地附近ニ集積ヲ完了スヘシ
 一 馬、本部ニ於テ馬車五名ヲ準備シ各隊一配當
 一 各隊ハ明日二十日七時三十分攻平場前ニ於テ
 受領スヘシ

開

一本日、総員四四名

十月二十日

二時作業

上 要

一 村民三四名奉仕作業

於伊江島

二 在支米空軍ハ比島方面敵機動部隊ト呼應ニ于日臺

灣及本土爆雲ヲ企圖シ各基地於準備ニルモノカシ

三 地區隊ハ對空警戒ヲ嚴テラシントス

四 對空射撃部隊ハ直ニ應ニ得ル如ク又各隊ハ直ニ待

避ニ得ル如ク準備ニアルヘシ

五 各隊ハ彈藥ノ掩蔽処置ニ関シ地區隊長ハ明十五日九

時迄報告スヘシ

地區隊長 西村 大尉

一 本日、左記會報

二 人体重測定ニ関スル件

三 兵力差出ニ関スル件

四 警戒警戒報解除

一本日、勤務者

日 直下士官 三浦軍曹

同 上等兵 遠藤實上等兵

一本日、総員四四名

十月二十日

二時作業

於伊江島

一 村民三四名奉仕作業

二 中隊長大隊長統制、第七九師幹部教育ニ出席

三 大隊長第二小隊陣地ヲ巡視セル

四 中隊長西作命第四三号ヨリカンシ戦法研究ニ参

開

員、命セラル

大島上等兵外一名會報ニ基キ服務セシム

本日勤務者

日直下士官 佐藤軍曹

同 上等兵 小林上等兵

本日総員四四名

十月十二日

晴 作業

月 晴

大反(進)上等兵外一名藤本中尉、指示ヲ受ケシム

於伊江島

中隊長研究委員會同ニ出席

体重測定實施

本日勤務者

日直下士官 鈴木軍曹

同 上等兵 大反(進)上等兵

本日総員四四名

十月十四日

晴 作業

火 曇

伊藤憲二等兵連絡兵トシテ本部ニ宿泊セシム

於伊江島

本日勤務者

巡察將校 板垣曹長

日直下士官 酒井軍曹

同 二等兵 川田二等兵

本日総員四四名

十月十五日

晴 作業

水 晴

村民二五名奉仕作業

於伊江島

將校全員集合、命テ大隊長、教育ヲ受ケ

二百五記西作命第四号受領ス

一 西部地區ハ本日九時三十分空襲警報發令セシ

支那方面ヨリ敵機伊江島ヲ空襲スル公算大ナリ

ニ 地區隊ハ對空警戒ヲ嚴シ陣地構築ヲ續行セントス

三 各隊ハ宿舎内ニテ兵器資材被服其他物資ヲ分散

疎開ヲ實施シ要ヲ警戒成兵ヲ付スヘシ

四 本部及各隊ハ對空監視ヲ嚴シ作業中敵機空襲

アルモ迅速ニ疎開シ得ル如ク予行ヲ實施スヘシ

尚予メ指示ニテ對空射擊部隊ヲ適ニ配置スル

五 余ハ伊江城山南麓ニ在リ

地區隊長 西村大尉

一 スン中隊長 西日命第六八号ヨリ名護町ニ出張ヲ命セラル

一本日勤務者

日直 下士官 大宮 軍曹

一本日、総員 四名

同 上等兵 菅原 上等兵

十月二十六日 二時 作業

水 晴 村民三名奉仕作業

於伊江島 一中隊長名護町ニ出張ス

一本日勤務者

日直 下士官 三浦 軍曹

同 上等兵 大島 上等兵

一本日、総員 四名

十月二十七日 二時 作業



金 晏
一 村民三四名奉任作業
於伊江島 一本日、勤務者

○

一本日、総員四名
日直下士官佐藤軍曹
同 上等兵伊藤(廣)上等兵

十月十八日
土 兩晏
於伊江島

一 休養兵器被服手入
一 中隊長出張中、処飯隊
一 二 藤中尉四日命第七号ニシテ、演習見學為
那霸市附近ニ出張ヲ命セラル
一 三 兵力差出ニ關スル會報アリ
一本日、勤務者

一本日、総員四名

日直下士官鈴木軍曹
同 上等兵佐藤(三)等兵

十月二十九日
日 晴
於伊江島

一 藤中尉那霸市附近ニ出張ス
一 二 齋藤一等兵曾命第七号ニシテ、經理室勤務ヲ命セラル
一 村上二等兵浜崎水道中、処飯隊ヲ命セラル
一 齋藤一等經理室勤務ニ伴ヒ、藤原上等兵第三分隊
ニ編入ス
一 二 菅原上等兵會報ニ基キ、炊事今井軍曹、指不度ヲ
ニム
一 大隊長注意事項
一 對空行動ニ遺憾ナク期スルコト
一 火災予防
一 老害予防

一 中隊長竹田中尉出張、日直將校交代服務ス
一本日勤務者
日直下士官 酒井軍曹
同 上等兵 高橋上等兵

一本日総員四四名

十月三十日 晴
於伊江島

一 村民二四名奉仕作業

二 本日命第七二号ヨリ左、如ク命セラレ

月日 日直將校 巡察將校

二 中隊長

工藤中尉

一本日勤務者

中隊長

日直下士官 大宮軍曹
同 上等兵 今野上等兵

一本日総員四四名

十月三十一日 晴
於伊江島

一 諸作業

二 村民二六名奉仕作業

三 左記西作命第四六号受領ス

一 自十月一日間、眞謝燈臺附近ニ於テ、校生中尉指導、
至十月十日、戰法研究演習ヲ實施ス

依テ各隊ハ左記人員ヲ明十一月一日七時三分役場
前ニ集合セシムル

左記

第五中隊下士官 一 第八中隊兵 二 第九中隊兵 二
第六中隊兵 一 第七中隊兵 一 第八中隊兵 一 第九中隊兵 一 第十中隊兵 一

一第七中隊下士官ハ右人員並ニ經理室ヲ馬車ニ
ヲ受領シ上引卒九時予燈臺ニ至、茲出中尉、指
揮下入ルシ以下略ス

地區隊長代理 諸江大尉

下達法命令受領者、集口達筆記トシ

一本日勤務者

日直下士官 佐藤 軍曹

同 上等兵 大槻 一等兵

一本日総員四四名

附表第一

第一	分隊	編	成	表	統手番号	官等級	氏名
一	番銃手	上	等	兵	一	上	伊藤 英 雄
二	上	等	兵	兵	一	上	松本 一
三	上	等	兵	兵	一	上	佐藤 親 雄
四	長	等	兵	兵	一	上	色川 良 雄
五	上	等	兵	兵	一	上	山本 一
六	上	等	兵	兵	一	上	菊地 五 郎
七	上	等	兵	兵	一	上	鈴木 健 右
八	上	等	兵	兵	一	上	千葉 吉 五 郎
九	上	等	兵	兵	一	上	柴山 政 雄

